

「中小企業施策の推進並びに予算の充実・強化」など 要望事項を審議 ～平成26年度専門委員会を開催しました～



金融専門委員会

7月8日(火)に専門委員会を開催し、総合、組織・制度、金融、税制、商業・流通、労働の6つの項目の次の内容について審議し、活発な意見交換が行われました。

行われました。

この意見を取りまとめ、国及び県等に対する要望事項として、「第51回中小企業団体三重県大会」並びに「第66回中小企業団体全国大会」に提出します。

【総合】■中小企業施策の推進並びに予算の充実・強化、■海外展開支援の拡充、■県内への観光客増加の支援 など11項目

【組織・制度】■中小企業組合制度の改善

【金融】■中小企業向け信用保証制度の充実、■高度化資金融資制度の弾力的な返済条件の緩和、■中小企業倒産防止共済制度の改善 など4項目

【税制】■中小企業関係税制の充実・強化、■消費税について、■事業承継における非上場株式の株価の優遇措置 など6項目

【商業・流通】■商店街活性化への支援、■街路灯等の固定資産税の非課税化、■不当廉売に対する迅速な対応 など5項目

【労働】■中小企業に配慮した短時間労働者への社会保険の適用、■中小企業の実態に基づく最低賃金の設定 など6項目



商業・流通専門委員会

自民党三重県支部に要望書を提出

7月14日(月)、三重県商工会議所連合会、三重県商工会連合会とともに、自由民主党三重県支部連合会を訪れ、3団体連名による「要望事項 平成26年度重点項目」を提出し、「三重県中小企業・小規模企業振興条例の活用のための具体策の充実」、「観光産業振興対策の充実」、「地域防災対策の充実」等について要望しました。



新政みえ 団体懇談会に出席



7月16日(水)、三重県議会・新政みえ主催の団体懇談会に出席し、平成27年度の予算政策についての要望書を提出しました。

佐久間会長は、「三重県中小企業・小規模企業振興条例」が制定され、中小企業の活性化や地域経済の振興・発展に大きな役割を果たすものと期待している。当会の

景況調査では、平成25年度の売上高、販売価格等の伸びは著しいものがあつたが、4月以降は、一転して下落している状況にあり、厳しい状況が続いている。」とあいさつを述べ、「中小企業施策の推進並びに予算の充実・強化」、「海外展開支援の拡充」、「県内への観光客増加の支援」、「官公需適格組合及び地元中小企業に対する官公需施策の拡充・強化」、など33項目の要望事項について要望しました。

三重の合同企業説明会を開催しました。



津会場の模様

7月2日(水)と3日(木)に「三重の合同企業説明会 in 津」(参加企業70社)を、8月5日(火)に「三重の合同企業説明会 in 四日市」(参加企業58社)を開催しました。

参加企業は、製造業、卸・小売業、サービス業等の三重県内に事業所のある中小企業等で、参加学生は津では2

日間で273名、四日市では123名の参加でした。各ブースでは採用担当者からの企業説明を学生等が熱心に聞き、職業紹介コーナーでも希望職種や勤務地等についてのアドバイスを受けていました。



四日市会場の模様

医療・福祉分野への参入について ～中央会夏期セミナーを開催～



7月29日(火)津市で、組合役員等約50名が参加し、CYBERDYNE株式会社安永営業部長を講師に招き、「ロボットスーツ「HAL®」の可能性について～医療・福祉分野におけるニュービジネスの創造～」をテーマに夏期セミナーを開催しました。

安永氏は、下肢に障害を持つ方や脚力が弱くなった方々の下肢動作や歩行をサポートし、歩くことの素晴らしさを取り戻してほしいと開発されたロボットスーツ「HAL®」

について、全国の170施設で約400台が使用されており、特徴として、自らの意思による歩行訓練や訓練の負荷を調整することが可能となることを挙げ、脊髄損傷の方が訓練により自身で歩けるようになった事例等を説明しました。

また、生活支援ロボットの実用化の課題としては、対人安全技術が必要であること、開発コストがかかることを述べ、また、単関節用や介護・福祉従事者用の腰補助タイプのものや周辺機器の開発などについて講習がありました。



HAL®実演風景